



Yamano Holdings

2026年3月期 第1四半期 決算説明資料

2025年8月14日

株式会社ヤマノホールディングス
(東証スタンダード 7571)

目次

- I. 2026年3月期 1Q決算ハイライト
- II. 2026年3月期 1Q決算概要
- III. 通期業績予想
- IV. Appendix

目次

I. 2026年3月期 1Q決算ハイライト

II. 2026年3月期 1Q決算概要

III. 通期業績予想

IV. Appendix

▶ 新セグメント体制の始動と事業ポートフォリオ最適化の推進

- 2026年3月期より、「ニューバリュー」「コアバリュー」の2セグメント体制へ再編
- 中計「Tsunageru2027」のもと、戦略と役割を明確化し、実行力を強化

▶ 第1四半期の業績は増収・赤字幅縮小、収益性向上が着実に進展

- 全体として増収を確保、赤字幅は前年同期比で縮小
- 和装部門で新販売管理システム導入、引渡し早期化で一時的な増収・増益要因に
- 美容・ライフプラス事業も収益性の改善が継続

▶ M&Aを通じた成長領域の拡充と将来収益力の強化

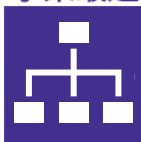
- 薬師スタジオ、ニューヨークジョーエクスチェンジ※が第1四半期にグループ入り
- 事業承継型M&Aで、「ニューバリュー」の拡大と成長ポテンシャルの取り込みを推進

※ニューヨークジョーエクスチェンジの業績は第2四半期より反映

中計 テーマ 成長期待感を醸成し、 市場からの評価を獲得する

重点取り組み(2026年3月期～)

事業最適



事業ポートフォリオの最適化

- 2つの戦略的セグメント体制の構築による成長ステージへの移行

人的資本



人的資本をより活かす経営

- 成長力を支える人財力の強化・蓄積したノウハウの共有による生産性の向上

資本/株価



資本コストや株価を意識した経営

- 情報発信力の強化・投資家との建設的な対話による適正な株価形成の推進

2030年ビジョン
従業員が投資したくなる会社へ

人的資本
投資

組織
活性化

人財投資から始まる
『Goodサイクル』の実現

ステーク
ホルダー
へ還元

業績の
向上

2027

2026

2025

2027年3月期 計画

売上高 : 175～185億円
EBITDA : 7～8億円

- 事業ポートフォリオの最適化に向け、2つの報告セグメントに再編
成長と安定の二軸を戦略的に融合し、柔軟性を備え、持続可能な企業体制へと進化

ニューバリュー



コアバリュー

成長と安定の好循環が
新たな企業成長の原動力に

教育・リユース・フォト事業
(2020年以降の事業)
→3事業起点に事業領域拡大

成長ポテンシャルを持つ
新領域への成長投資を加速
(事業承継型M&Aの推進)

和装宝飾・美容・ライフプラス※
(既存の基盤事業)

利益の安定化、C/F最大化
による事業基盤を強化
(収益構造と効率性の強化)

安定収益と成長投資の好循環を生み出し、着実な企業価値の向上を図る

■ ライフイベントに寄り添うフォト事業を通じた事業領域の拡充



事業内容 写真撮影、衣装レンタル、ヘア、メイク、着付
店舗数 スタジオ 4店、レンタル専門店 1店
直近業績 売上高1億72百万円
※2024年10月期

✓ 高品質と独自性を兼ね備えた競争優位性

- 「一流」へのこだわりによる高品質な顧客体験
- 犬専門スタジオ、マタニティ・ニューボーンフォト等、多様なニーズに応える撮影サービスを展開
- SNS活用とトレンド対応による若年層の集客力

✓ 事業承継型M&Aによるフォトスタジオ事業に進出

- 友好的な事業承継でライフスタイル領域を拡充
- 全従業員を受け入れ、自主性を尊重した支援を実施
- ノウハウやブランド資産を活かし、継続的成長を後押し

✓ グループ連携によるシナジーと新たな価値創出

- 美容・和装との親和性を活かし、統合サービスを推進
- 相互送客・技術交流で顧客接点とLTVを最大化
- 成長が見込まれるペットフォトで新たな収益機会を創出



■ 先進的リユースブランドの獲得による持続的成長基盤の強化



事業内容：古着売買業

店舗数：3店舗
下北沢・吉祥寺・渋谷

直近業績 ※2024年11月期
売上高4億92百万円

✓ 革新的なブランドで若年層への強い訴求力

- SNSを活用し、感度の高い若年層を中心にファンを拡大
- 独自の店舗設計による高い空間価値で顧客満足度を向上
- 販売、買取に加え、商品交換可能なトレード方式を導入

✓ 事業承継型M&Aを通じたリユース事業の強化

- リユース事業の拡大を見据えた事業基盤を構築
- サステナブル志向の広がりを捉え事業ポートフォリオを形成
- ブランド力・運営力を活かし、グループ全体の競争力を向上

✓ シナジーの創出と市場ポジションの拡大

- グループ連携による仕入・販売の効率化と収益性の向上
- ブランド価値の融合で顧客の信頼と共感を強化
- 顧客基盤の拡大と新たな成長エンジンの創出を図る



目次

I. 2026年3月期 1Q決算ハイライト

II. 2026年3月期 1Q決算概要

III. 通期業績予想

IV. Appendix

2026年3月期 1Q業績サマリー

- 和装の一時的な増収に加え、新体制下で主要事業が堅調に推移し、全体で増収
- 1Qは、M&Aに伴う取得関連費用が先行して発生
- 2Q以降、グループ入りした2社の本格的な収益貢献が見込まれる

(単位:百万円)

	2025/1Q 実績	2026/1Q 実績	増減	増減比
売上高	3,143	3,448	+ 304	+ 9.7%
売上総利益	1,533	1,733	+ 199	+ 13.0%
(売上総利益率)	(48.8%)	(50.3%)	(+ 1.5p)	—
EBITDA	△176	△22	+ 154	—
(EBITDAマージン)	(△5.6%)	(△0.6%)	(+ 5.0p)	—
営業利益	△204	△58	+ 146	—
(営業利益率)	(△6.5%)	(△1.7%)	(+ 4.8p)	—
経常利益	△209	△72	+ 136	—
当期純利益	△171	△78	+ 92	—

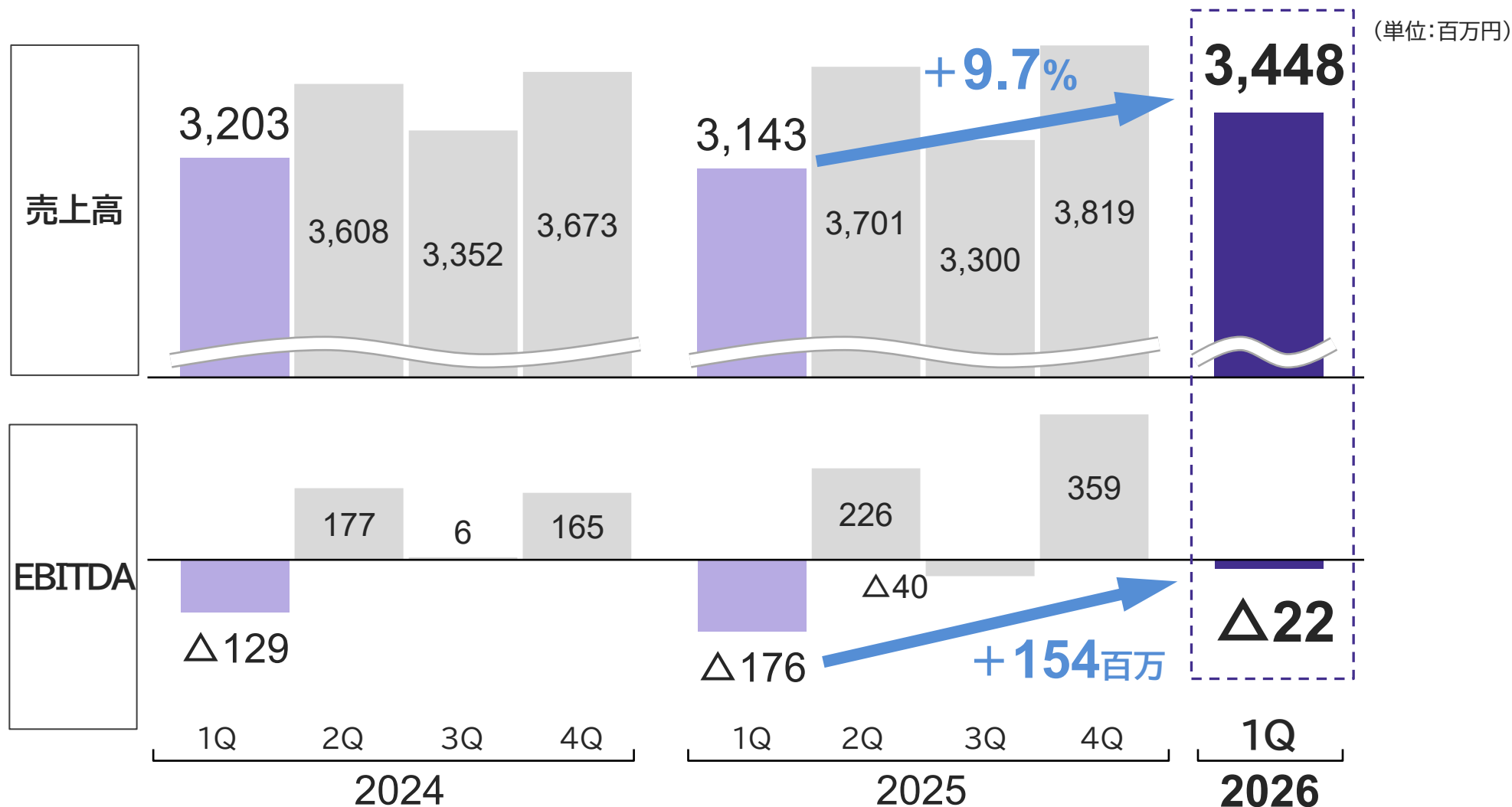
※EBITDA 営業利益と減価償却費（のれんに係る償却費含む）の合計額

四半期別 売上高／EBITDA 推移



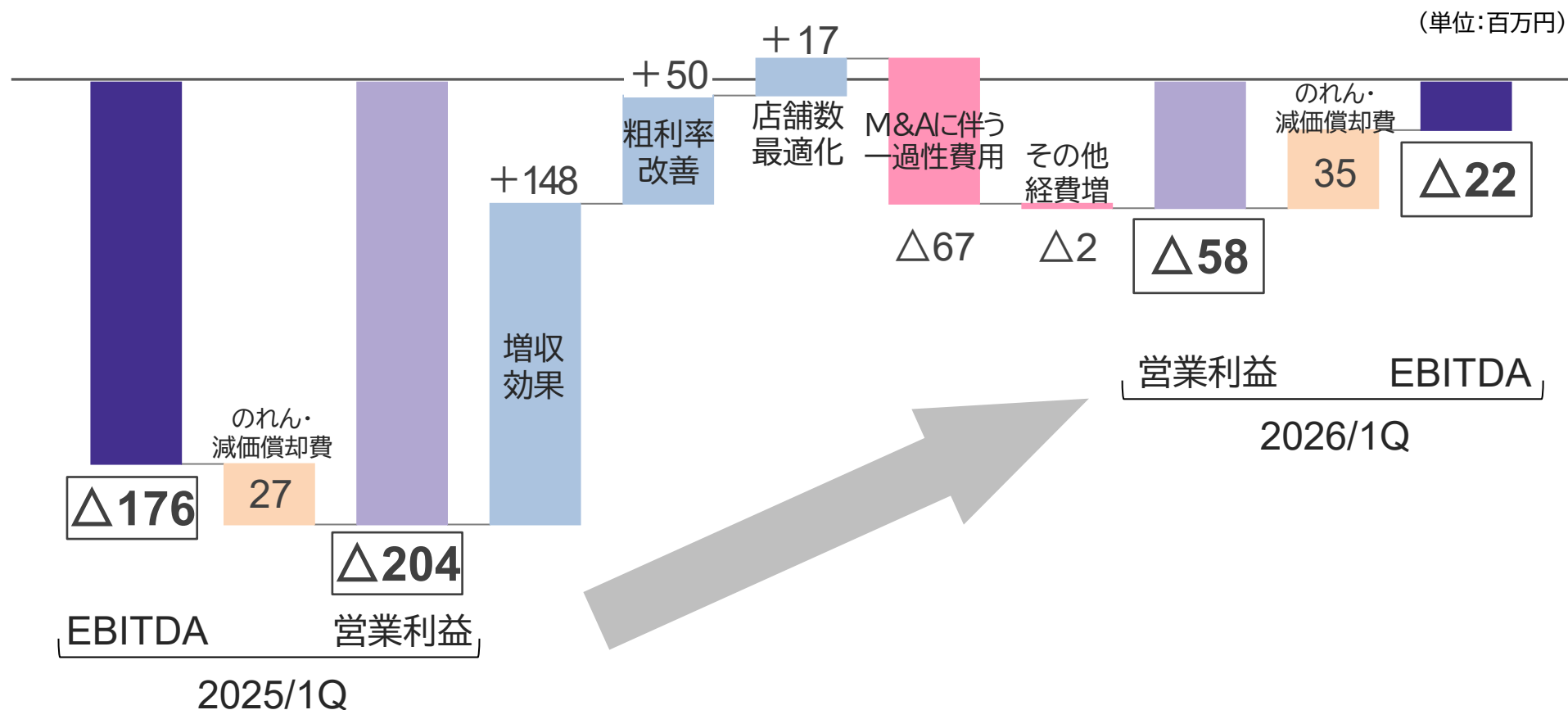
Yamano Holdings

- 季節変動のある1Qにおいても、和装部門の引渡し早期化等で増収を確保
- コアバリューの収益性向上が継続し、成長を支える基盤強化を進める



EBITDA／営業利益 増減要因

- 新システム導入による商品引渡しの早期化と粗利率改善が収益性向上に寄与
- M&A関連費用は発生したものの、店舗最適化効果等により収益は着実に改善



連結貸借対照表の概要



Yamano Holdings

(単位:百万円)

	2025/3末	構成比	2025/6末	構成比	増減
資産合計	7,956	100.0%	8,431	100.0%	+475
流動資産	6,077	76.4	6,262	74.3	+185
固定資産	1,879	23.6	2,168	25.7	+289
有形固定資産	353	4.4	390	4.6	+36
無形固定資産	426	5.4	646	7.7	+219
投資その他	1,098	13.8	1,132	13.4	+33
負債・純資産合計	7,956	100.0%	8,431	100.0%	+475
負債合計	6,628	83.3	7,225	85.7	+596
流動負債	4,817	60.6	5,023	59.6	+206
短期借入金※	1,385	17.4	1,657	19.7	+272
固定負債	1,811	22.8	2,201	26.1	+389
長期借入金	1,299	16.3	1,618	19.2	+318
純資産合計	1,327	16.7	1,206	14.3	△120

主な変動要因

総資産

- 借入金の増加等による現預金の増加(+273)
- M&A実行に伴うのれんの増加(+192)
- 売掛金の減少(△93)
- 商品の増加(+59)

負債

- 商品引渡し促進等による前受金の減少(△226)
- 短期借入金※の借入等による増加(+272)
- 長期借入金の借入等による増加(+318)
- 電子記録債務の増加(+123)

※1年以内返済予定長期借入金含む

純資産

- 四半期純損失の計上(△78)
- 配当金(△35)

自己資本比率 14.3%(△2.3pt)

セグメント別業績(売上高／営業利益)



Yamano Holdings

(単位:百万円)

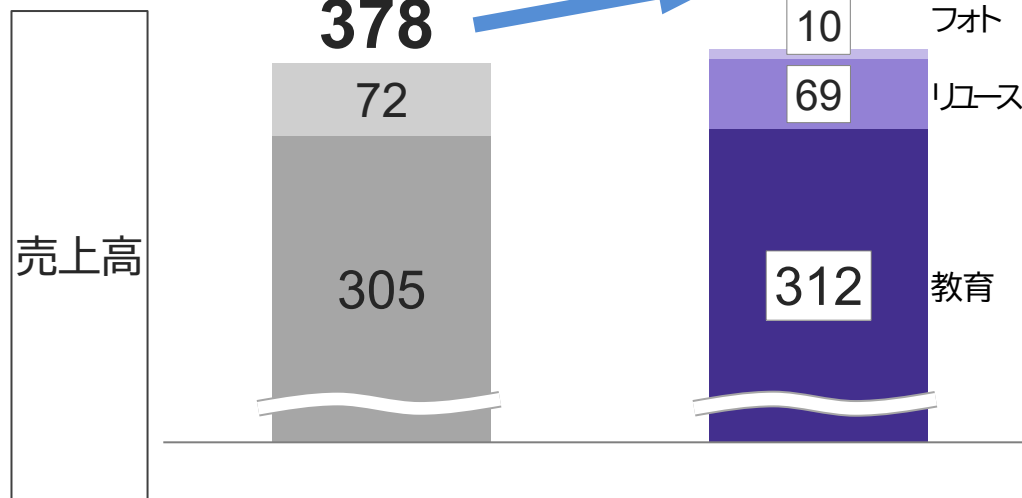
	売上高				営業利益			
	2025/1Q	2026/1Q	前年比		2025/1Q	2026/1Q	前年比	
			増減額	増減比			増減額	増減比
ニュー バリュー	378	391	+13	+3.5%	△16	△35	△19	－
	※1 12.0%	11.4%	△0.6		※2 －	－	－	
コア バリュー	2,765	3,056	+291	+10.5%	△172	68	+241	－
	88.0%	88.6%	+0.6		－	2.2%	－	
調整額	－	－	－	－	△14	△90	△75	－
合計	3,143	3,448	+304	+9.7%	△204	△58	+154	－

※1 売上構成比

※2 セグメント別利益率

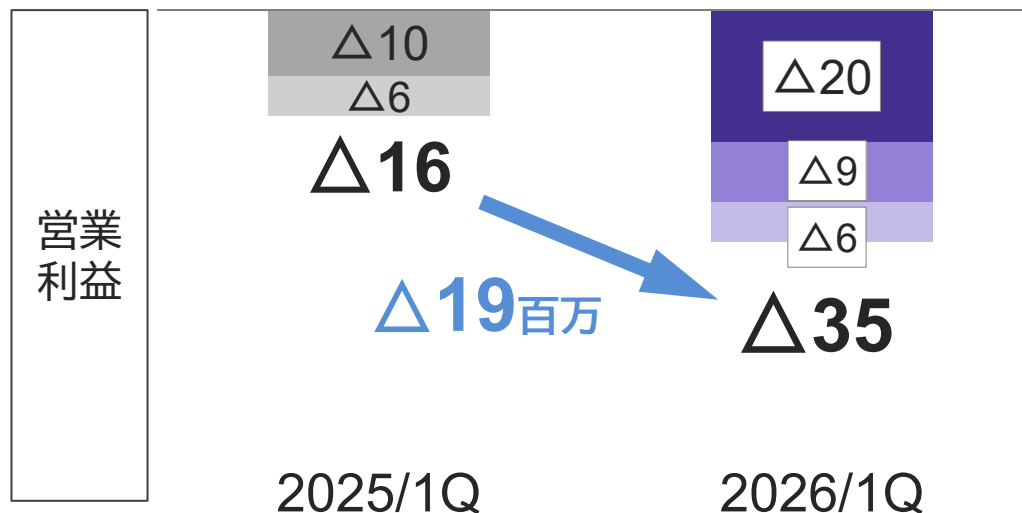
セグメント別概況（ニューバリュー）

（単位：百万円）



売上面

- 教育は、子会社3社を通じ、関東エリアを中心に67教室を展開、概ね順調に推移
- リユースは、前期に続きOLD FLIPの構造改革に取り組み、店舗に加えEC、BtoBの強化を推進
- 薬師スタジオのグループ入りで事業領域を拡大。PMIを進め収益基盤の構築を図る

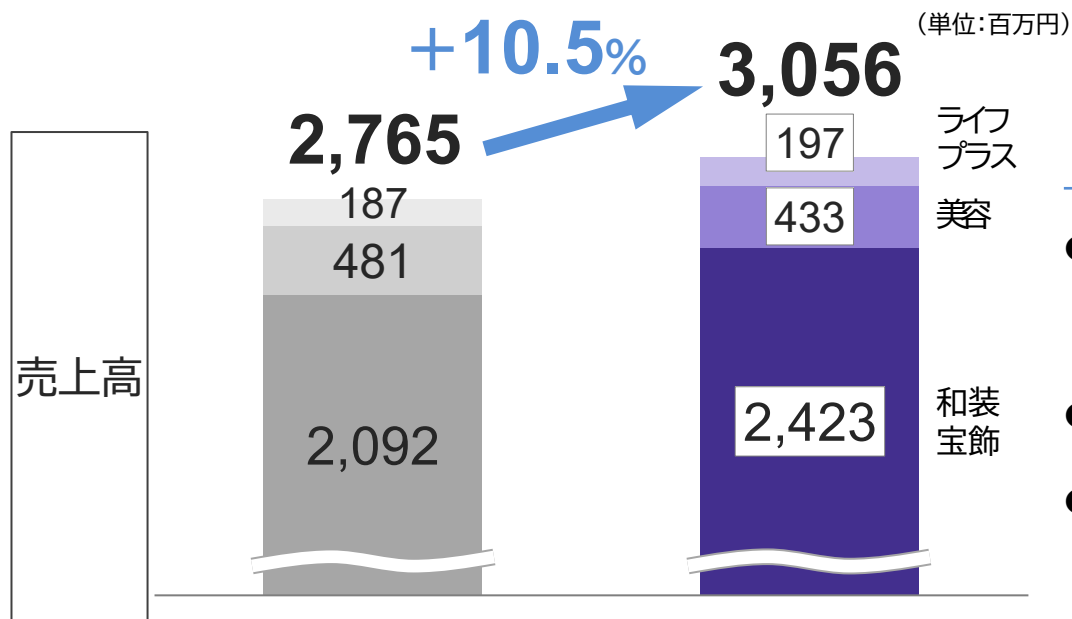


利益面

- 教育は、採用強化や教室長候補の早期育成研修など、人財投資により人件費が増加。中長期的な収益成長基盤を強化
- リユースは、収益性を重視した販売体制への移行を進め、採算性の高い運営体制を構築中

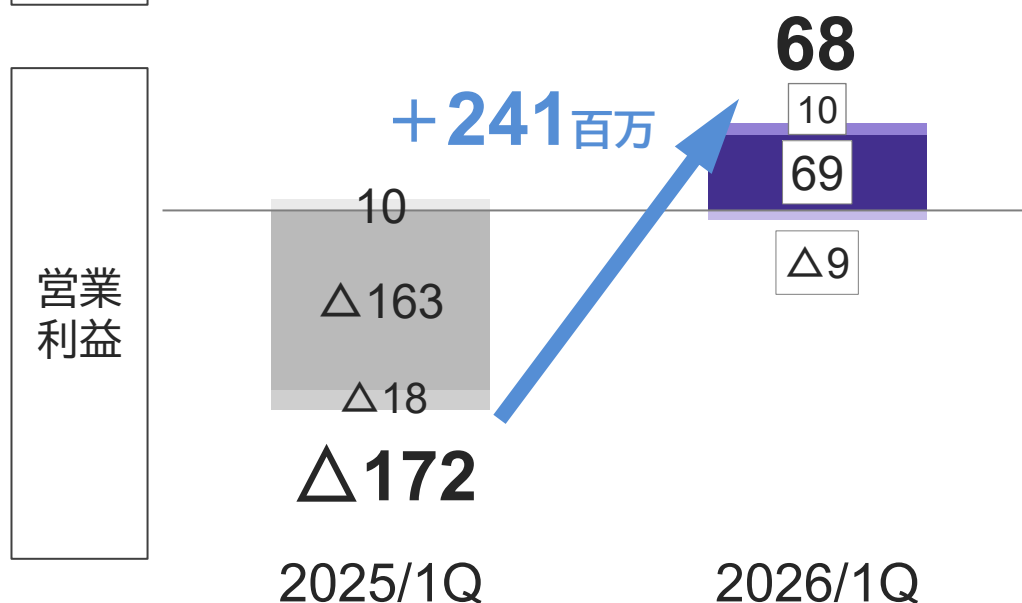
※6月にグループ入りした、ニューヨークジョーエクスチェンジの業績については、2Q決算より反映

セグメント別概況（コアバリュー）



売上面

- 和装宝飾は、前期の営業資源の再配置により、店舗数は7店舗減も構造改革により生産性向上（1店舗当り売上高+13.3%）
- 美容は、前期の不採算店舗閉鎖で5店舗減
- ライフプラスは、催事強化や販路拡大施策が奏功し増収確保



利益面

- 和装宝飾は、商品引渡し早期化による増収要因に加え、販売効率の向上や粗利率の徹底管理により利益率の改善が進行
- 美容は、価格改定後もサービスメニューの強化により顧客離れを最小限に抑え、増益を確保
- ライフプラスは、施策の推進やコスト管理の強化に取り組み、収益改善の傾向が継続

目次

- I. 2026年3月期 第1四半期決算ハイライト
- II. 2026年3月期 第1四半期決算概要
- III. 通期業績予想**
- IV. Appendix

2026年3月期 通期業績予想

- 2025年5月15日に公表した通期業績予想から変更はございません。
※通期計画に対しては、各事業とも概ね計画通りで推移

(単位:百万円)

	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 (予想)	増減額	増減比(%)
売上高	13,964	14,400	+ 435	+3.1
EBITDA※	368	640	+ 271	+73.9
EBITDAマージン	2.6%	4.4%	+ 1.8P	—
営業利益	256	500	+ 243	+ 95.3
経常利益	236	450	+ 213	+ 90.4
当期純利益	41	320	+ 278	+ 665.1
EPS(円)	1.20円	9.18円	+ 7.98	—
1株配当(円)	1.0円	1.5円	+ 0.5	—

※EBITDA 営業利益と減価償却費(のれんに係る償却費含む)の合計額

■「人を活かす経営」の実現に向けた体制強化

社外取締役 成島 由美 氏

プロフィール

- (株)ベネッセコーポレーションにて取締役常務執行役員、校外教育カンパニー長を歴任
- 学校法人大妻学院 理事、大妻中学高等学校 校長として教育現場でも豊富な経験
- グループ会社の取締役など、企業経営にも深い見識を有する



<今後の期待される役割>

- 教育・経営の両面に通じた視点から、人財戦略の高度化と現場支援を加速
- 経営全般への助言と監督を通じたコーポレートガバナンス体制の強化
- 成長を支える経営基盤のさらなる強化に向け、実効性ある支援体制を構築

目次

- I. 2026年3月期 第1四半期決算ハイライト
- II. 2026年3月期 第1四半期決算概要
- III. 通期業績予想
- IV. Appendix**

会社名	株式会社ヤマノホールディングス	事業内容	・美容室、ネイルサロンの運営 ・和装品、宝飾品、毛皮、洋装品、寝装品、健康関連商品の販売 ・学習塾の運営 ・古着の買取/販売、フォト事業	
設立	1987年2月20日		本社所在地	東京都渋谷区代々木1-30-7 ヤマノ24ビル
資本金	10,000,000円	主要株主		(株)ヤマノネットワーク
株式上場	1997年11月 日本証券業協会 (現 東京証券取引所JPXスタンダード) 証券コード：7571		山野義友	10.9%
			(株)ヤマノビューティメイトグループ	9.7%
			山野功子	6.0%
業種	小売業	山野美容商事株式会社	5.4%	※2025年3月末日現在
		発行済株式数	35,830,058株(自己株式を含む) ※2025年3月末日現在	
決算月	3月	株主数	5,416名 (2025年3月末日現在)	
代表者名	代表取締役社長CEO 山野 義友	主要グループ会社	株式会社ヤマノプラス 株式会社すずのき 株式会社マンツーマンアカデミー 東京ガイダンス株式会社 株式会社灯学舎 株式会社OLD FLIP 株式会社ヤマノセイビング 株式会社薬師スタジオ	
従業員数	単体222名、連結545名 (2025年3月31日現在、女性比率 約70%)			

美道五原則

(髪、顔、装い、精神美、健康美)

企業理念

こころが明るく美しくなければ、外観の美しさは作られない。

心身の健康が外観の美を形作り、外観が美しくなることによって、また、心身ともに穏やかな状態が作られていく。

創業者山野愛子が生涯をかけて提唱し続けた美道五原則とは、

「髪」「顔」「装い」「精神美」「健康美」という五つの要素が内面と外見の両方で調和し合い、相互に影響し合って、真の人間の本当の美しさが生まれると定義した人類学における理念です。

Mission(私たちの使命)

豊かさと彩りあるライフスタイルを創造し続けます

Vision(2030年に向けてのビジョン)

従業員が投資したくなる会社へ

Value(私たちの価値観と行動規範)

我らに奉仕の心あり

我らに団結の力あり

我らに実践の斗志あり

我らに必勝の信念あり

我らに目標達成の行動あり

- 私たちは、謙虚に学ぶ姿勢を忘れずに、感謝する心を大切にします。
- 私たちは、自己成長に励み、互いに個性を尊重し、信頼し合い、結束する力を持ちます。
- 私たちは、最善の成果が得られるよう、誇りと情熱をもって、やり抜く強い意志を持ちます。
- 私たちは、いかなる状況においても、自分の能力・努力を信じ、必ず成功すると確信します。
- 私たちは、コンプライアンスを遵守し、「行動なくして成果なし」の精神で、迅速かつ柔軟に考動します。

グループ全体の事業別店舗構成



古着の買取・販売事業を関東中心に展開。商品廃棄ゼロを目指し、リユースファッションを楽しむ新しいライフスタイル提案型のビジネスモデル

フォト
スタジオ



地域密着の記念撮影サービスを提供。スタジオ4店、レンタル専門店1店を展開

リユース
9

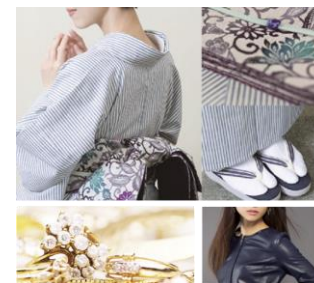
5

ライフプラス



健康関連商品、家電、洋装、宝飾品等の催事・訪問販売を全国28拠点で展開

和装宝飾



和装用品店を中心に、宝飾店・毛皮店も展開する専門店チェーン 全国96店舗

96

グループ店舗数
275店舗

67

教育



やる気スイッチグループ「スクールIE」のFC加盟事業のメガフランチャイジー。首都圏を中心に、個別指導教室を67教室展開

71

美容

首都圏・関西圏を中心に、幅広い年齢層に対応した美容室を67店舗。さらに、ネイルサロンを4店舗展開



沿革と戦略的成長のステップ



Yamano Holdings

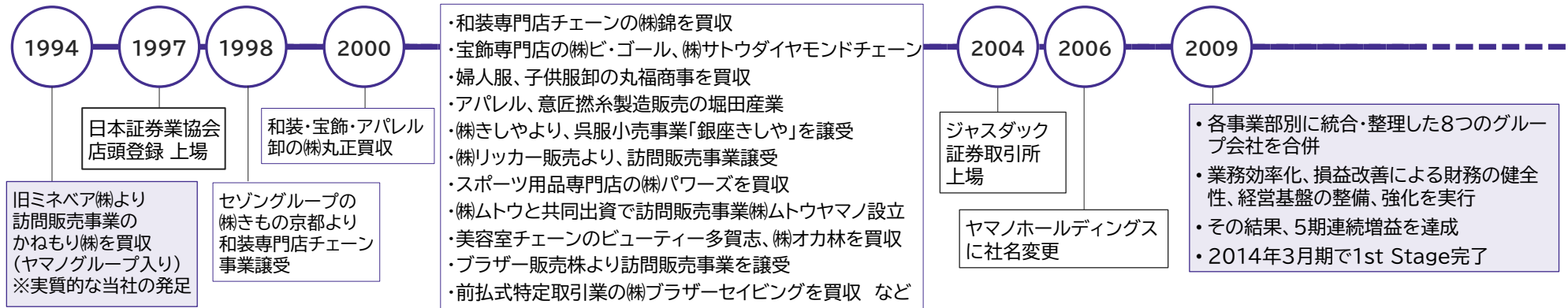
創業

M&Aで事業領域の拡大に乗り出す

第2創業1st Stage

<2001～2007年に買収、事業譲受した主な会社、事業>

<持株会社制から事業本部制に移行>



第2創業2st Stage

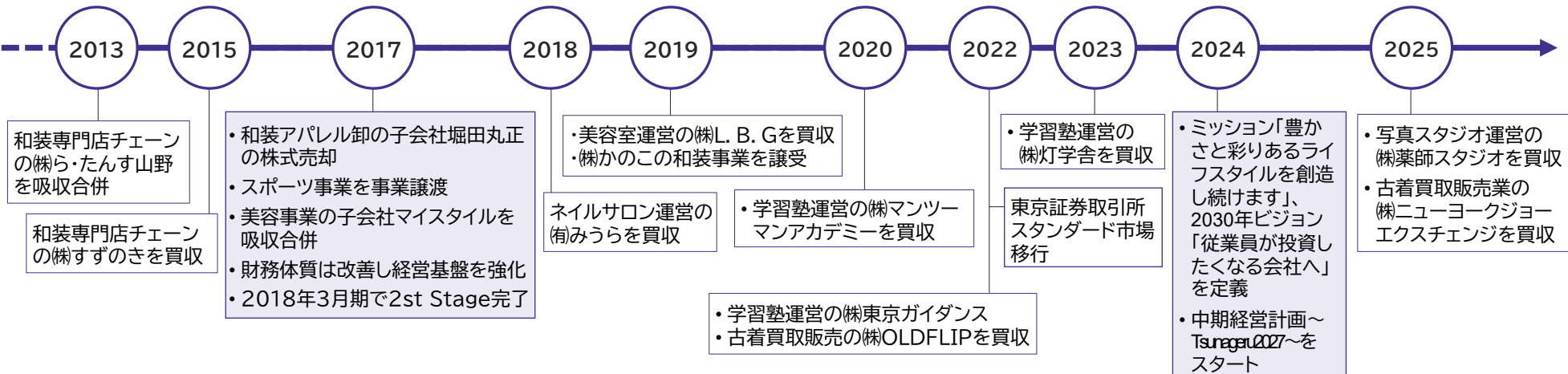
第2創業3rd Stage

中期経営計画 2027

<本格的な事業再編を実行>

<M&Aを継続、新規事業領域への投資拡大>

<成長期待感を醸成、市場の評価獲得>

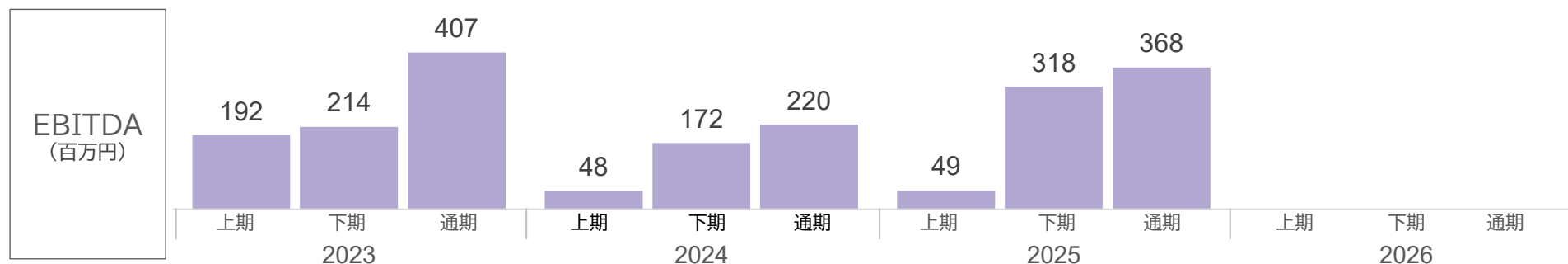
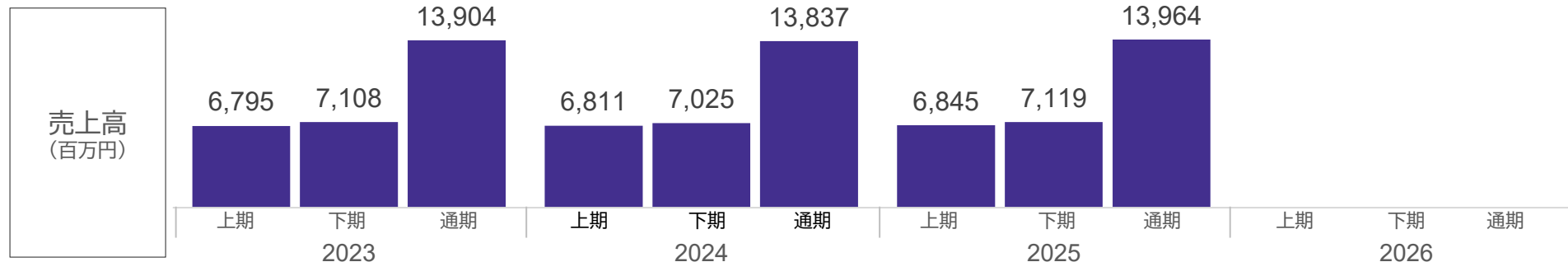


連結業績推移



Yamano Holdings

	2023年3月期			2024年3月期			2025年3月期			2026年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	6,795	7,108	13,904	6,811	7,025	13,837	6,845	7,119	13,964			
EBITDA	192	214	407	48	172	220	49	318	368			
営業利益	144	153	297	△8	109	100	△5	261	256			
経常利益	140	146	286	4	97	102	△13	249	236			
当期純利益	54	119	173	△9	△19	△28	△63	105	41			
EBITDAマージン	2.8%	3.0%	2.9%	0.7%	2.4%	1.6%	0.7%	4.5%	2.6%			
営業利益率	2.1%	2.2%	2.1%	△0.1%	1.6%	0.7%	△0.1%	3.7%	1.8%			
経常利益率	2.1%	2.1%	2.1%	0.1%	1.4%	0.7%	△0.2%	3.5%	1.7%			
当期純利益率	0.8%	1.7%	1.2%	△0.1%	△0.3%	△0.2%	△0.9%	1.5%	0.3%			



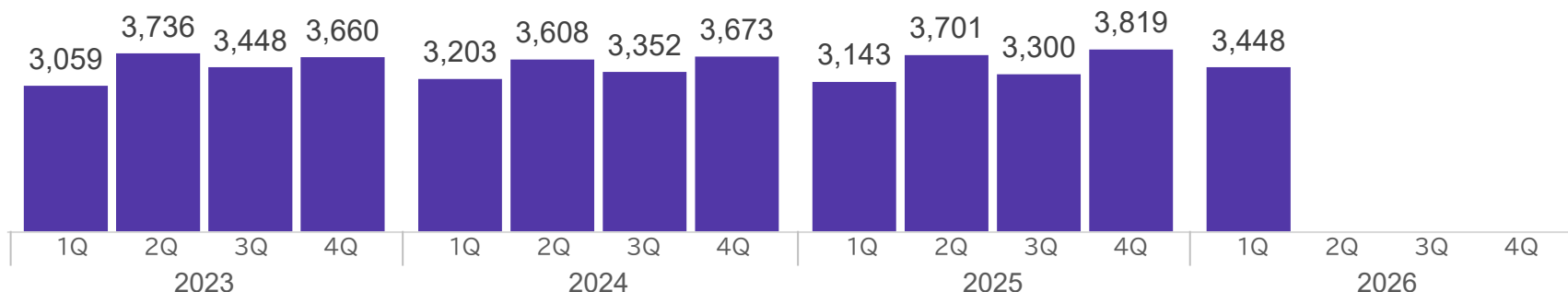
四半期業績推移



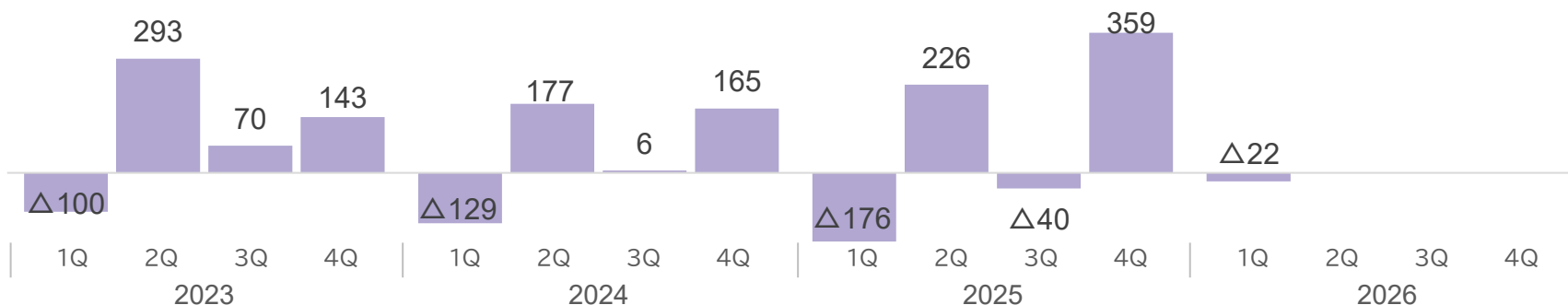
Yamano Holdings

	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	3,059	3,736	3,448	3,660	3,203	3,608	3,352	3,673	3,143	3,701	3,300	3,819	3,448	0	0	0
EBITDA	△100	293	70	143	△129	177	6	165	△176	226	△40	359	△22	0	0	0
営業利益	△119	264	39	113	△157	148	△20	129	△204	199	△68	329	△58	0	0	0
経常利益	△124	264	36	109	△158	163	△24	121	△209	196	△74	324	△72	0	0	0
当期純利益	△162	217	1	117	△124	115	△23	4	△171	107	△158	264	△78	0	0	0
EBITDAマージン	△3.3%	7.8%	2.0%	3.9%	△4.0%	4.9%	0.2%	4.5%	△5.6%	6.1%	△1.2%	9.4%	△0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
営業利益率	△3.9%	7.1%	1.1%	3.1%	△4.9%	4.1%	△0.6%	3.5%	△6.5%	5.4%	△2.1%	8.6%	△1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
経常利益率	△4.1%	7.1%	1.0%	3.0%	△4.9%	4.5%	△0.7%	3.3%	△6.6%	5.3%	△2.2%	8.5%	△2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
当期純利益率	△5.3%	5.8%	0.0%	3.2%	△3.9%	3.2%	△0.7%	0.1%	△5.4%	2.9%	△4.8%	6.9%	△2.3%	0.0%	0.0%	0.0%

売上高
(百万円)



EBITDA
(百万円)



連結貸借対照表/キャッシュフロー計算書推移



Yamano Holdings

(単位:百万円)

B/S	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
流動資産合計	7,740	7,624	7,900	7,477	7,482	7,699	7,153	6,865	6,790	6,135	6,571	6,077	6,262			
現金及び預金	3,373	3,499	3,581	3,194	3,249	3,525	2,898	2,732	2,585	2,384	2,573	2,438	2,712			
売掛金	2,550	2,486	2,621	2,561	2,495	2,533	2,627	2,551	2,407	2,109	2,357	2,127	2,033			
固定資産合計	1,864	1,853	1,855	1,880	1,901	1,865	2,001	1,781	1,830	1,767	1,796	1,879	2,168			
有形固定資産合計	389	382	375	339	337	323	341	317	316	319	326	353	390			
無形固定資産合計	388	377	360	344	328	339	426	363	369	353	400	426	646			
のれん	368	354	339	325	311	318	395	338	322	306	291	300	492			
投資その他の資産の合計	1,086	1,093	1,119	1,196	1,234	1,201	1,233	1,100	1,144	1,095	1,069	1,098	1,132			
資産合計	9,604	9,477	9,756	9,357	9,383	9,564	9,155	8,647	8,620	7,903	8,367	7,956	8,431			
流動負債合計	6,282	5,965	6,345	5,901	6,248	6,449	5,977	5,560	5,761	5,043	5,464	4,817	5,023			
仕入債務	1,557	1,633	1,838	1,475	1,652	1,827	1,637	1,684	1,789	1,491	1,640	1,444	1,507			
短期借入金(1年以内含)	2,153	2,151	2,108	2,134	2,333	2,492	2,089	1,753	1,674	1,547	1,506	1,385	1,657			
固定負債合計	2,356	2,310	2,202	2,124	1,984	1,852	1,944	1,863	1,800	1,707	1,843	1,811	2,201			
長期借入金	1,924	1,879	1,756	1,707	1,584	1,465	1,535	1,462	1,379	1,300	1,384	1,299	1,618			
負債合計	8,639	8,275	8,547	8,025	8,232	8,301	7,922	7,423	7,562	6,751	7,308	6,628	7,225			
純資産合計	965	1,201	1,208	1,331	1,151	1,262	1,232	1,223	1,058	1,152	1,059	1,327	1,206			
株主資本	1,023	1,240	1,242	1,359	1,182	1,297	1,273	1,278	1,107	1,214	1,055	1,319	1,206			
評価・換算差額等	△57	△38	△33	△28	△31	△34	△41	△54	△48	△62	3	7	0			
負債及び純資産合計	9,604	9,477	9,756	9,357	9,383	9,564	9,155	8,647	8,620	7,903	8,367	7,956	8,431			

(単位:百万円)

C/F	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
営業活動によるC/F	△120	△108	199	209	129	384		
投資活動によるC/F	△211	△219	△48	9	△98	△126		
財務活動によるC/F	54	△129	54	△806	△378	△551		
フリーC/F	△331	△328	151	219	31	258		
C/F増減額	△277	△457	205	△587	△347	△293		
C/F期末残高	3,010	2,830	3,036	2,243	1,896	1,950		

ディスクレマー

本資料は、当社の業績概要、ならびに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ
経営企画部
Tel: 03-6743-9377
Mail: ir@yhc-net.com